

本郷だより

<第266号>

校訓 「挑戦」「共感」「飛躍」



令和4年6月30日



文京区立本郷小学校

運動会を終えて

校長 溝畑 直樹



去る5月28日(土)に実施いたしました運動会には、延べ1239名の保護者の皆様の御観覧をいただきました。日頃、お世話になっているスクールガードの皆様も、今年は運動会にお招きすることができました。このように学校の教育活動は、少しずつですがコロナ後に向けて動き始めています。また、今年度も運動会の運営にあたってはPTA本部役員の皆様、地域学校協働本部の皆様の多大なるお力添えをいただきました。

学校だけでなく、保護者・地域と共に作り上げる運動会は、まさに本校の誇りとするところです。御協力いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

さて、そんな運動会の中で強く心に残った場面がありましたので紹介いたします。昨年度から保護者観覧日の最後には、6年生応援団が、保護者の皆様、学校を支えてくださる地域の皆様に向けて、「フレーフレー本郷」と声高らかにエールを贈らせていただいています。応援団の演技も終わり、大きな拍手の中で今年度の全演技・競技が終了したその時、6年生の応援団に所属している一人の児童が、運営にあたられていたPTA役員の皆様、地域学校協働本部の皆様の方へ駆けつけていきます。何事かと見ておりましたら、その児童はその場にいたお一人お一人に「ありがとうございました。お陰様で運動会を終えることができました。」と深くと頭を下げ、感謝の言葉を述べていたのです。それは誰に指示されたわけでもありません。自らの意志で、6年生としての誇りと責任を胸に、感謝の気持ちを素直に表すその姿に、子供たちの内面の大きな成長を見る思いがしました。行事を通して多くを学んだ子供たちのこれからの活躍ぶりが楽しみです。

安全な生活を

生活指導主任

運動会などの大きな行事が終わると気が緩みがちになります。気の緩みは次の飛躍のための準備期間として一定時間は必要ですが、長くなりすぎると、停滞や下降に繋がってしまいます。

学校では、次の点を重点的に指導していきます。

1、下校のコースを守る

赤コースは春日門、青、緑コースは正門から出ることになっていますが、そこを守らなかつたり、友達の家の方へ寄り道をしたりすることがありました。適切な通学路を通り、安全な登下校ができるようにしていきます。保護者の方、地域の方におかれましてはいつも見守りの御協力ありがとうございます。

2、安全第一で過ごせるようにする

校舎内の廊下や階段を走ったり、下の階に物を落としたりすることがありました。一步間違えると大きな事故につながる行為を一つ一つ未然に防げるようにしていきます。

学校の教育では、命、安全が最優先です。友達や周りの人を危険に巻き込むような行為には厳しく指導する場合がありますが御理解、御協力よろしくお願いします。

八ヶ岳高原学園 移動教室（6月22日～24日）

5年生

荀子の言葉の中に「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。経験したことは、忘れない。」という箴言があります。子供たちは、かけがえのない経験をこの移動教室で得てきたのではないのでしょうか。移動教室の初日は雲行きが怪しく、登山途中には雨が降ってきました。しかし、山頂に到着すると雨も上がり、雲の合間から景色が覗くと友達同士で声を掛け合い、絶景を共有していました。移動教室の期間中、登山もそうですが、寝具の準備や食事の支度、整理整頓など様々な場面で仲間と協力して活動する姿が見られました。子供たちにとっては初めての経験が多く、友達と目標に向かって努力し、成し遂げる達成感を味わっている子供もいました。感想の中では、キャンプファイヤーでのレクリエーションや森の中での自然体験プログラム、牧場体験に関する意見が多くありました。学校では感じ取ることのできないことを学んできたようです。この経験を生かして、高学年として更なる活躍をしていけるよう支援していきます。



